

ひふみ投信 月次ご報告書

追加型投信/内外/株式

レオス・キャピタルワークスよりお客様へ

資産形成のパートナーに「ひふみ投信」をお選びいただき、ありがとうございます。

運用状況ならびに運用責任者からお客様へのメッセージなどをご報告します。



おかげさまで

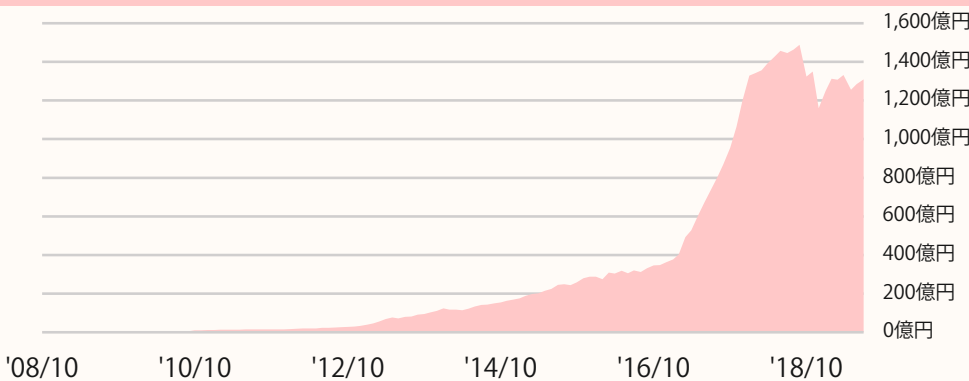
ひふみ投信10周年

運用実績

基準価額の推移（日次）



純資産総額の推移（月次）



運用成績

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ひふみ投信	2.2%	-1.9%	6.3%	-9.8%	40.1%	361.7%
TOPIX	0.9%	-3.1%	1.2%	-8.6%	26.5%	80.0%

ひふみ投信の運用状況

基準価額	46,166円
純資産総額	1309.3億円
受益権総口数	28,361,335,106口

ひふみ投信 投資信託財産の構成

ひふみ投信マザーファンド	100.3%
現金等	-0.3%
合計	100.0%

分配の推移（1万口当たり、税引前）

第5期	2013年9月	0円
第6期	2014年9月	0円
第7期	2015年9月	0円
第8期	2016年9月	0円
第9期	2017年10月	0円
第10期	2018年10月	0円
設定来合計		0円

作成基準日：2019年7月31日

※当レポートで言う基準価額とは「ひふみ投信」の一万口あたりの値段のことです。また信託報酬控除後の値です。

※ひふみ投信の当初設定日の前営業日（2008年9月30日）を10,000円として指数化し、基準価額とTOPIXのグラフや設定来の運用成績の表を作成しています。

※TOPIXは、全てTOPIX（配当込み）を用いています。TOPIX（配当込み）は当ファンドのベンチマーク（運用する際に目標とする基準）ではありませんが、参考として記載しています。TOPIXとは東証株価指数のことです。東京証券取引所第一部に上場されているすべての銘柄の時価総額（株数×1株当たり時価）の合計を指数化して算出され、日本の株式市場全体の動きをあらわすともいえます。TOPIX（配当込み）とは、配当収益を考慮して東京証券取引所が算出・公表している指数です。

※当レポートにおいて特段の注記がない場合は、基準日時点における組入銘柄比率や運用実績を表しています。また運用成績など表記の値については小数点第二位を四捨五入して表示しています。そのため組入比率などでは合計が100%にならない場合があります。

※純資産総額は1,000万円未満を切捨てて表示しています。

※受益権総口数とは、お客様に保有していただいている口数合計です。

※ひふみ投信は分配金再投資専用の投資信託です。

※ひふみ投信は、ひふみ投信マザーファンド（親投資信託）を通じて実質的に株式へ投資しています。

※現金等には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

資産配分比率などの状況

ひふみ投信マザーファンドの状況

純資産総額	7528.9億円
組み入れ銘柄数	237銘柄

市場別比率

東証一部	78.5%
東証二部	0.9%
マザーズ	2.6%
JASDAQ	1.3%
その他海外株	11.7%
現金等	5.0%
合計	100.0%

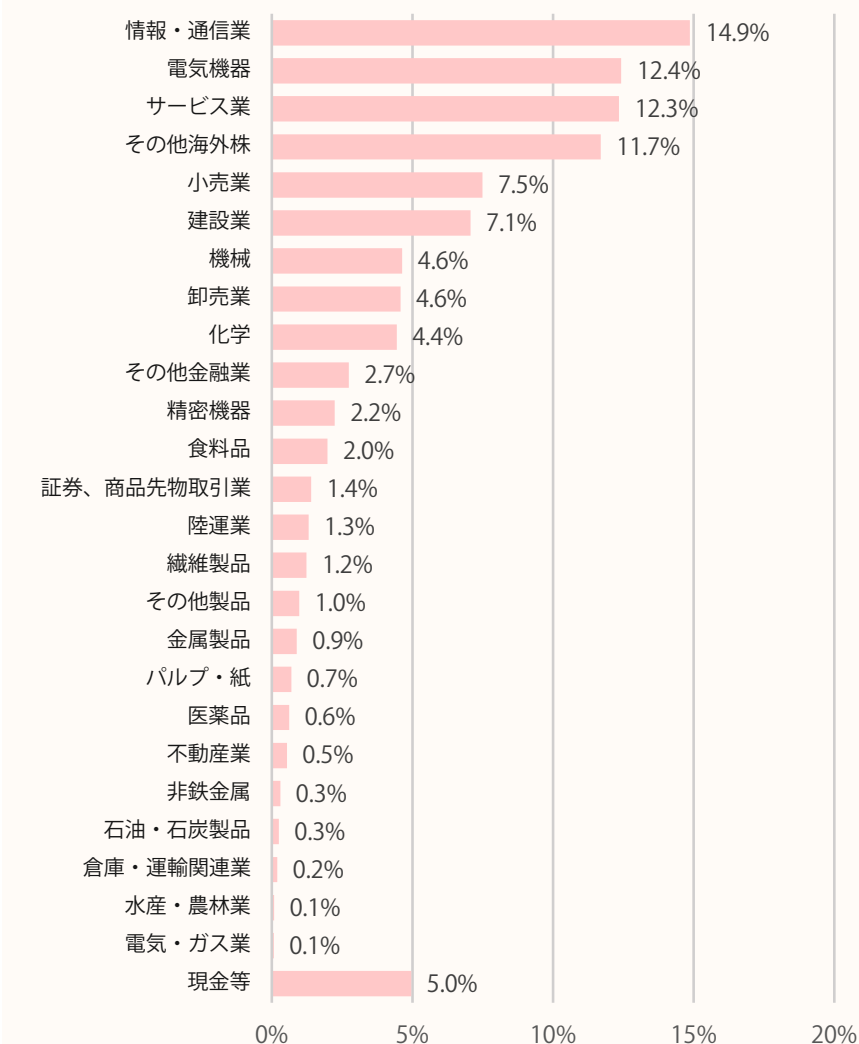
資産配分比率

国内株式	83.4%
海外株式	11.7%
現金等	5.0%
合計	100.0%

※「資産配分比率」「市場別比率」「業種別比率」はマザーファンドの対純資産比率にて表示しております。

※現金等には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

業種別比率

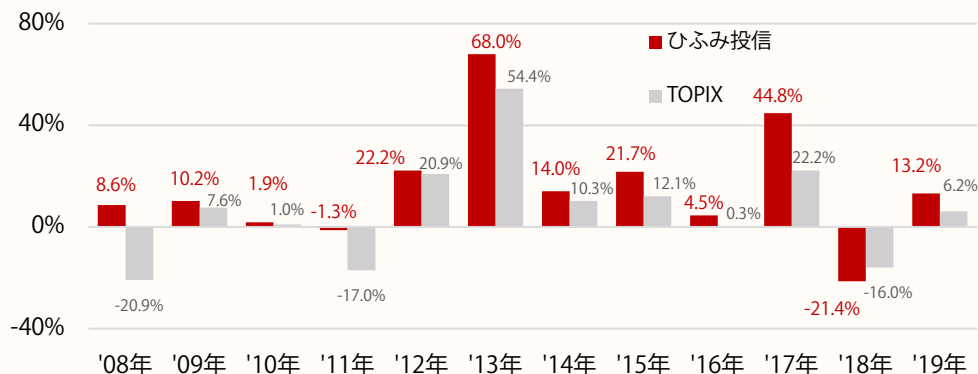


※業種別比率について：東証33業種分類を用いて表示しています。非保有の業種は表示されません。

また海外株式については「その他海外株」として表示しています。

ひふみ投信と市場の比較

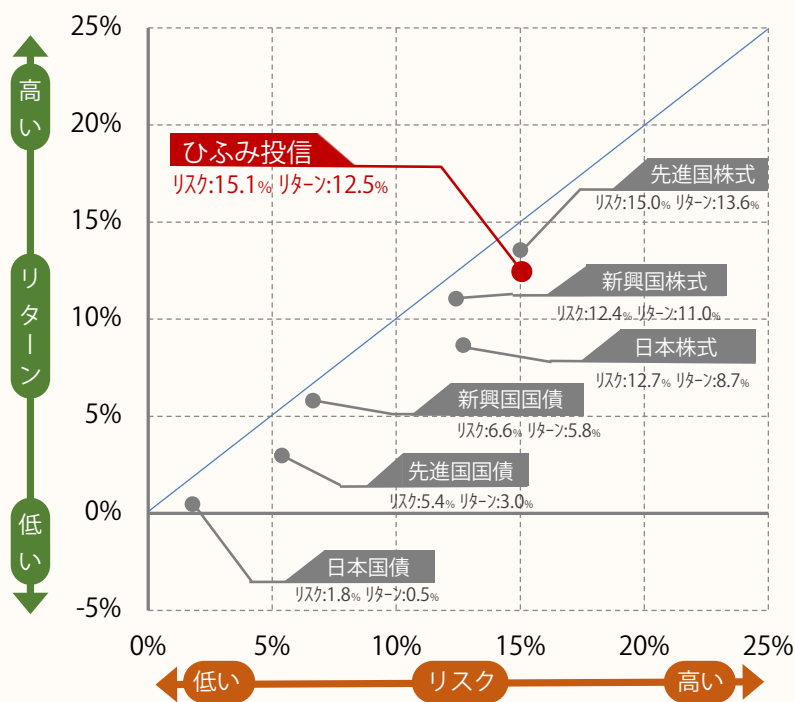
各年の収益率



※各年の収益率について：暦年ベース、2008年は9月末から年末まで、当年は作成基準日（レポート1ページ目右上をご覧ください）まで。

※ひふみ投信と主要資産のリスクリターンについて：作成基準日（レポート1ページ目右上をご覧ください）を起点として過去36か月間のひふみ投信および主要資産の月次リターンを元に年率換算したリスクとリターンを算出しグラフを作成。

ひふみ投信と主要資産のリスクリターン（過去3年間）



解説：リスクリターンとは？

国や地域、業種や特性の違う様々な資産に投資をする際に、最も重要視される尺度がリスクとリターンです。リスクリターン値（ここではリターンを分子に、リスクを分母にして割った値とします）は高めれば高いほど、スマート（効率的）に運用成果を得ることができたと理解されます。当ページのリスクリターン表においてはより左上にいるほうが、「リスクはより低く、リターンがより高かった」、よりスマートな投資ができたということになります。

解説：リスクとは？

投資や統計の世界において、リスクは「どのくらい危険か（どのくらい下落するか）」ではなく、「どのくらい不確かか、ブレるか（値動きが上下するか）」を表す尺度です。詳しい方には値動きの標準偏差という伝わるでしょう。どんなに素晴らしい会社の株式でも、未来は不確かである以上、景気や投資家の思惑など様々な要因で株価は上下を繰り返します。そして同じ期間で同じだけ投資成果の出た2つの企業の株価でも、期間中の値動きは異なります。これが大きい小さいかを数字で示すのがリスクです。言い換えれば様々な金融商品の、過去一定期間の値動きの大きさ小ささを計測した値であり、未来の投資収益における不確実性（価格変動の大きさ）の目安になる参考指標がリスクと言えます。

ひふみの主な受賞歴



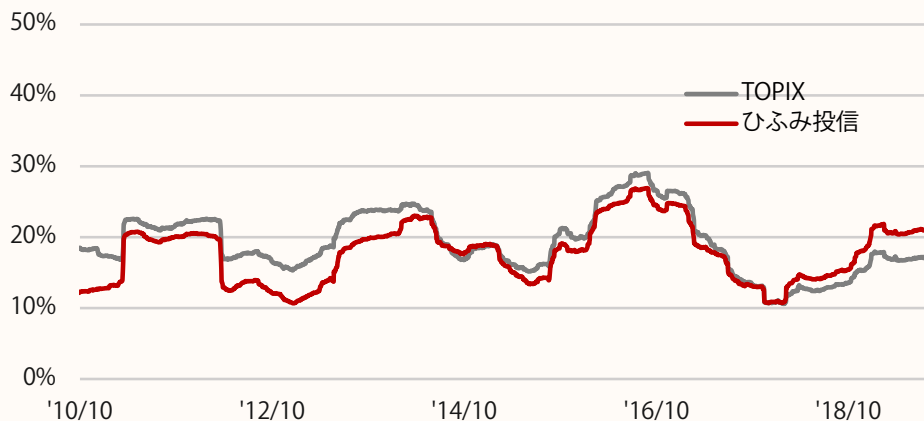
受賞年	受賞詳細
2019年	R&I ファンド大賞 2019 投資信託10年/国内株式部門 最優秀ファンド賞
2018年	R&I ファンド大賞 2018 NISA/国内株式部門 優秀ファンド賞
2018年	投信プロガーが選ぶ！Fund of the Year 2017 第6位
2016年	グッドデザイン賞

※過去の実績は将来の収益を保証するものではありません。

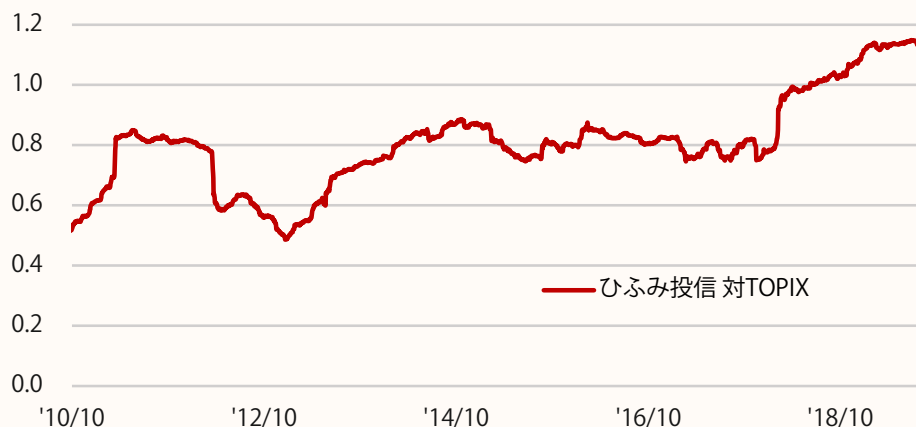
ひふみ投信と市場の比較

時価総額別比率		アクティブシェア
大型株（3,000億円以上）	40.9%	89.4%
中小型株（300億円以上、3,000億円未満）	48.0%	
超小型株（300億円未満）	6.2%	
現金等	5.0%	
合計	100.0%	

値動きの大きさの推移（250営業日リスク推移）



株式市場への値動きの連動性（250営業日ベータ推移）



※アクティブシェアについて：基準日時点のTOPIXと比較

解説：アクティブシェアとは

ポートフォリオがベンチマークとどれだけ異なっているかを示します。アクティブシェアは0%~100%の間の数値で100%に近いほど、ベンチマークと異なるポートフォリオであることを示します。TOPIX（配当込み）はひふみ投信マザーファンドのベンチマークではございませんが、参考として算出しています。

※値動きの大きさの推移について：設定来の日次リターンを基に過去250営業日のリスク（日次リターンの標準偏差の年率換算値）の推移を表示したものです。

解説：リスクの推移の意味

ひふみ投信とTOPIXのリスク量を比較して分かる事は、簡単に言えば「どのくらいアクセルを踏んでいるか」ということです。アクティブ運用の投資信託は市場環境等に応じて中身（ポートフォリオ）を変化させます。より値動きが大きくなっても上昇機会を得られるとして中身を変化させると、リスクの値は高くなるでしょう。ひふみ投信は概ねTOPIXよりも低いリスクを維持しており、安定的な値動きの運用を目指していることが分かります。

※株式市場への値動きの連動性について：設定来の日次リターンを基に過去250営業日の対TOPIXとひふみ投信のベータ値の推移を表したものです。

解説：ベータの推移の意味

上記のグラフにおけるベータは、TOPIXに対してひふみ投信がどのくらい連動するかを表します。仮に0.8のとき、TOPIXが1上がると、ひふみ投信は0.8程度の上昇が見込まれます。逆にTOPIXが1下がると、ひふみ投信は0.8程度の下落に留まると見込まれます。

※ひふみのあゆみで使用している指数

TOPIXまたは日本株式=TOPIX（配当込み）

先進国株式=S&P Developed Ex-Japan BMI (JPY) (ヘッジなし・円ベース)

新興国株式=S&P Emerging BMI (ヘッジなし・円ベース)

日本国債=シティ日本国債インデックス

先進国国債=シティ世界国債インデックス(除く日本国内投信用、ヘッジなし・円ベース)

新興国国債=シティ新興国国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)

※新興国株式、新興国国債については、レオス・キャピタルワークスが米ドルベースの指数を円換算しています。

※各指数はレオス・キャピタルワークスが、当資料作成時点で取得した数値を採用しています。

※指数の権利表記

シティ日本国債インデックス、シティ世界国債インデックス（除く日本、国内投信用、ヘッジなし・円ベース）、シティ新興国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）は、Citigroup Index LLC（以下Citindex）により開発、算出および公表されている債券インデックスです。Citindexまたはその関連会社は、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、Citindexは、当該データの正確性および

完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はCitindexに帰属します。

※R&Iファンド大賞について

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

「投資信託10年部門」では、2014、2019年それぞれの3月末における5年間の運用実績データを用いた定量評価および2019年3月末時点における3年間の運用実績データを用いた定量評価がいずれも上位75%に入っているファンドに関して、2019年3月末における10年間の定量評価によるランキングに基づいて表彰しています。

定量評価は、「投資信託10年部門」ではシャープ・レシオを採用しています。表彰対象は償還予定日まで1年以上の期間を有し「投資信託10年部門」では残高が30億円以上かつカテゴリー内で上位50%以上の条件を満たすファンドとしています。「投資信託10年部門」は確定拠出年金専用ファンド、SMA・ラップ口座専用ファンドを除く国内公募追加型株式投資信託を対象にしており、いずれも基本的にR&Iによる分類をベースとしています。「NISA部門」では「R&I NISAスクリーニング」の2018年版（2月8日に公表）の基準を満たしたファンドに関して、2018年3月末における3年間の定量評価によるランキングに基づいています。

※投信プロガーが選ぶ！Fund of the Year 2017について

2017年10月31日までに設定された投資信託（ETF含む）で、海外籍ETFについては、日本の証券会社を通じて買付可能なものを対象としています。

※2016年度グッドデザイン賞について

グッドデザイン賞では有形無形を問わず、様々な物事を応募対象として受付し、2016年5月末から6月初旬までにウェブサイトを通じて応募する対象が審査対象となります。

銘柄紹介（基準日時点の組入比率1～10位）

	銘柄名	銘柄コード	規模	上場市場	業種	組入比率
	企業ロゴ等	銘柄紹介				
1	協和エクシオ 	1951	大型	東証一部	建設業	2.2%
		電気通信設備工事のリーディングカンパニー。光ファイバーケーブル網の敷設や、サーバーによるネットワークの構築等を全国規模で行ない、日本の情報インフラを支える。				
2	光通信 	9435	大型	東証一部	情報・通信業	2.1%
		同社の強みである営業力を生かして、インターネット回線や水、保険など複数のストックビジネス（毎月安定的に収益を得られるビジネス）を手掛ける。				
3	ネットワンシステムズ 	7518	中小型	東証一部	情報・通信業	2.0%
		ネットワーク構築から運用まで、「つなぐ・むすぶ・まもる・かわる」をコンセプトにサービス提供。働き方改革を背景としたIT投資やセキュリティニーズの増加を追い風にした成長を期待。				
4	東京センチュリー 	8439	大型	東証一部	その他金融業	1.9%
		みずほFG、伊藤忠商事などを母体とする会社。競合他社の参入が難しいとされる航空機、環境エネルギー、不動産事業に積極的に取り組むことで、成長を目指す。				
5	アマノ 	6436	中小型	東証一部	機械	1.8%
		就業時間管理システムや駐車場管理、床面洗浄機をはじめ、企業の労働環境改善に向けた製品を提供。働き方改革が進む中、当社製品の引き合いが強まる可能性も。また営業にも強み。				
6	シスメックス 	6869	大型	東証一部	電気機器	1.7%
		検体検査機器や試薬の世界的な大手。試薬の利益率が高く、継続的な需要が見込まれるため、日本では数少ない景気変動の影響を受けにくい高成長企業。				
7	INTUIT INC 	INTU	大型	NASDAQ	その他海外株	1.6%
		個人・中小企業及び会計士向け財務会計ソフト及びそれらのオンラインサービスの提供を行なう。これまでパッケージベースで提供されていたものからオンラインベースでの課金サービス型への切り替えを積極的に進めており収益性が上昇、またオンデマンドで働く層の増加で市場そのものも拡大中。				
8	VISA INC-CLASS A 	V	大型	NYSE	その他海外株	1.6%
		クレジットカードでおなじみの世界的な決済テクノロジー企業。VISAのテクノロジーにより、世界中の様々な人、企業、政府があらゆる場所で決済することが可能に。				
9	ショーボンドホールディングス 	1414	中小型	東証一部	建設業	1.6%
		橋梁やトンネルといった道路構造物をはじめとするインフラの補修・補強を行なう。日本全国で進行している公共インフラ老朽化の対策を担う。				
10	東京エレクトロン 	8035	大型	東証一部	電気機器	1.5%
		日本が誇る半導体製造装置の開発・製造企業（世界3位）。発祥は電子機器商社。半導体製造の前工程・後工程のうち前工程に多数の製造装置を提供しており、近年進む半導体製品の高度化に多大なる貢献をしている。				

※規模は作成基準日時点の時価総額と以下の区分に基づき作成しています。

大型（3,000億円以上）、中小型（300億円以上、3,000億円未満）、超小型（300億円未満）

※「組入比率」はマザーファンドの対純資産比率です。

銘柄紹介 (2019年4月26日時点)

	銘柄名	銘柄コード	規模	上場市場	業種	組入比率
1	協和エクシオ	1951	大型	東証一部	建設業	2.4%
2	東京センチュリー	8439	大型	東証一部	その他金融業	2.1%
3	ネットワンシステムズ	7518	中小型	東証一部	情報・通信業	2.0%
4	光通信	9435	大型	東証一部	情報・通信業	1.9%
5	ダイフク	6383	大型	東証一部	機械	1.6%
6	OLLIE'S BARGAIN OUTLET HOLDINGS	OLLI	大型	NASDAQ	その他海外株	1.6%
7	ショーボンドホールディングス	1414	中小型	東証一部	建設業	1.6%
8	リクルートホールディングス	6098	大型	東証一部	サービス業	1.6%
9	アマノ	6436	中小型	東証一部	機械	1.5%
10	日本電産	6594	大型	東証一部	電気機器	1.5%
11	共立メンテナンス	9616	中小型	東証一部	サービス業	1.4%
12	シスメックス	6869	大型	東証一部	電気機器	1.4%
13	ガンホー・オンライン・エンターテイメント	3765	大型	東証一部	情報・通信業	1.3%
14	GMOペイメントゲートウェイ	3769	大型	東証一部	情報・通信業	1.2%
15	ジャフコ	8595	中小型	東証一部	証券、商品先物取引業	1.2%
16	ミライト・ホールディングス	1417	中小型	東証一部	建設業	1.2%
17	VISA INC-CLASS A	V	大型	NYSE	その他海外株	1.2%
18	MICROSOFT CORP	MSFT	大型	NASDAQ	その他海外株	1.2%
19	ソニー	6758	大型	東証一部	電気機器	1.1%
20	九電工	1959	中小型	東証一部	建設業	1.1%
21	富士通	6702	大型	東証一部	電気機器	1.1%
22	コスモス薬品	3349	大型	東証一部	小売業	1.1%
23	TDK	6762	大型	東証一部	電気機器	1.1%
24	AMAZON.COM INC	AMZN	大型	NASDAQ	その他海外株	1.0%
25	リログループ	8876	大型	東証一部	サービス業	1.0%
26	アンリツ	6754	中小型	東証一部	電気機器	1.0%
27	INTUIT INC	INTU	大型	NASDAQ	その他海外株	1.0%
28	あい ホールディングス	3076	中小型	東証一部	卸売業	1.0%
29	ゲンゼ	3002	中小型	東証一部	繊維製品	0.9%
30	東京エレクトロン	8035	大型	東証一部	電気機器	0.9%

※規模は以下の区分に基づき作成しています。

大型 (3,000億円以上)、中小型 (300億円以上、3,000億円未満)、超小型 (300億円未満)

※「組入比率」はマザーファンドの対純資産比率です。

米FOMCや企業決算控え日本株は小動き グローバルでも様子見ムード

7月の株式相場は、米連邦公開市場委員会（FOMC）や企業決算という重要イベントを控えていたためか、動意に欠ける商状が続きました。日経平均株価の月中値幅は829円に留まり、月末終値は前月比1.2%高の21,521.53円となっています。

7月の日経平均株価は大幅高スタートとなりました。注目された米中首脳会談の結果は「貿易戦争で休戦を宣言、交渉再開で合意」とおおむね予想通りでしたが、トランプ米大統領が中国通信機器大手ファーウェイへの制裁緩和を示唆したことが市場に安心感を与え、1日の日経平均株価は前日比+2.1%と約3ヵ月ぶりの上昇率を記録しました。

しかしその後の日本株市場は停滞しました。注目度が高かった米中首脳会談を通過したこと、そして何よりも月末に2008年以来となる米国の政策金利引き下げが決定される見込みであるFOMCを控え、様子見ムードが漂いました。

マーケットの関心を集めたのはFOMCを見据えた米連邦準備理事会（FRB）メンバーの発言でした。議長をはじめ利下げを示唆する発言が続き、米国株は派手さこそないものの史上最高値を小幅に更新していきました。しかし日本株は蚊帳の外でした。米国の利下げ期待は為替市場ではドル売り圧力を強め、日本株にはネガティブとなりやすい円高基調が続きました。日本には韓国との外交問題という新たな懸念材料が浮上しました。月後半から始まる企業決算での減益懸念も強いなか、日経平均株価は18日に21,000円割れまで売り込まれました。しかしFRBメンバーの利下げ支持発言を受けて短期間で元の水準に戻すと、月後半はFOMCを控えて小動き商状に終始しました。

月後半から本格化した企業決算においても米国の一人勝ちが顕著でしたが、さすがの米国株も10年半ぶりの利下げが予定されているFOMCというビッグイベントを控えてか上値は重く、7月はグローバルで値動きが限定的な月となりました。



トレーディング部長
岡田 雄大

※組入比率など運用についての記述は、すべてひふみ投信マザーファンドに関するご説明です。

※当資料では「ひふみ投信マザーファンド」のことを「ひふみ」と略する場合があります。

日米市場とも割安株出現 優良銘柄の買い場

1月～7月は対TOPIXで6勝1敗 新高値目指し運用

関東地域は梅雨がほぼ7月いっぱい続く鬱陶しい天気でした。世界の市場も梅雨明けにはほど遠く、出来高の少ないぐずぐずした相場展開で、「閑散に売りなし」の相場格言どおり、ひと月を通じてTOPIXもほぼフラットでした。

2019年に入ってからひふみは好調が続き、7月もTOPIXを上回るパフォーマンスを上げました。1月から7月まで、月ごとにはTOPIXに6勝1敗。負けたのは6月のみと好調です。ただ昨年10～12月の下落が大きく、新高値まで遠い状況ですので、しっかり運用をしていざれ高値をとっていきたいと考えています。

参院選は波乱なく、与党が改選過半数の議席を確保し、相場を下支えしました。米国は予想通り利下げしましたが、トランプ大統領の対中追加関税第4弾のニュースとともに米中貿易戦争問題が再度クローズアップされ、8月5日には人民元安が進みました。これが日本の為替を円高方向に誘導し、日本の株式市場も大きく下げました。米国株式も大きく下落しており、8月は波乱のスタートになっています。

現在、ひふみの現金比率は5%程度あります。この下落局面を活かし、株価が下がった優良銘柄を買い増そうと考えています。日米ともに割安株が多く出現しているこの局面はチャンスととらえています。5G、IoT、AI関連企業はもちろん、円高で下がったハイテク株や優良成長株の絶好の買い場になっております。

米中貿易戦争はまだまだ予断を許しませんが、一方で、このような急落時は優良銘柄を買い付ける絶好の機会であり、次の相場回復期に備えて、しっかり買付けしようと考えています。今後とも全力を尽くして運用しますので、ひふみをよろしく願います。



代表取締役社長
最高投資責任者
藤野 英人

※組入比率など運用についての記述は、すべてひふみ投信マザーファンドに関するご説明です。

※当資料では「ひふみ投信マザーファンド」のことを「ひふみ」と略する場合があります。

米金融緩和と米中貿易戦争が綱引き

日本株、底値固めから年末高へ

米連邦準備理事会（FRB）は7月31日の連邦公開市場委員会（FOMC）で0.25%の利下げを決め、8月1日にはトランプ米大統領が中国からの輸入品3,000億ドル相当に9月から10%の制裁関税を課すと発表しました。今後の日本株を取り巻く投資環境は、米金融政策と米中貿易戦争の行方が焦点になるとみられます。加えて、世界半導体出荷動向や10月からの消費増税の行方が注目されます。

FRBが約10年ぶりに利下げに動いたのは、①米中貿易戦争（世界経済の減速と下ブレ懸念、米企業のセンチメントの悪化・設備投資の抑制）と、②低いインフレ率への対応が主因でした。インフレ率は1.5%前後と、物価安定の目標とする2%を長らく下回っています。次回9月のFOMCでFRBが追加利下げに動くかどうかは、米中貿易戦争がカギを握るとみられます。

米中の閣僚級通商協議は7月から再開され、今回は9月にワシントンで開催が予定されています。来年の大統領選挙を控えたトランプ政権は中国と包括的な貿易合意を早期にまとめたいとの立場ですが、一方の習近平指導部は「トランプ後」を視野にする長期スタンスで、両者はかみ合っておりません。米中の早期の包括的合意は難しいとみられます。

米中貿易戦争が好転しなければFRBは9月のFOMCで追加利下げに動きそうです。この場合、欧州中央銀行（ECB）も9月に利下げ（金融緩和）に動く可能性が高いとみえています。円高が進行すれば日本銀行は9月に利下げなど追加緩和に踏み切るでしょう。消費増税を控えて政府からは景気対策論議が急浮上するとみられます。雇用情勢が悪化する中国も金融緩和や財政出動など内需刺激策を打ち出すでしょう。逆に米中貿易戦争が好転に向かう場合は、米国はじめ世界経済に対して改善期待が強まり、米国の大幅な利下げ気運が後退しそうです。つまり、米国の金融緩和と米中貿易戦争は一種の綱引き関係にあるとみられます。年末に向けて世界経済・株式市場は、極端に悪化することは回避されそうです。

世界景気循環に重要な影響を与える世界半導体出荷額は2018年9月をピークに調整局面でしたが、今春以降、大底形成の様相を示しています。半導体受託生産（ファウンドリー）で世界首位の台湾積体回路製造（TSMC）がエンジニアや3,000人以上を年内に採用する計画を明らかにし、人工知能（AI）や次世代高速通信規格（5G）関連の半導体需要の開拓に向け積極投資を打ち出しています。同社は過去もシリコンサイクルのボトム圏で積極投資を打ち出し成功を収めてきました。同社の積極化は今後の世界経済にとっても明るい兆候と評価されます。

日本株の需給面では10月からの消費増税を警戒し、外国人投資家が日本株の組入比率を大幅に引き下げ、極端な不人気状態です。今回の消費増税は過去2回（1997年、2014年）に比べて、軽減税率や教育費の無償化、キャッシュレス決済時のポイント還元など、はるかに手厚い対策が講じられています。日本株は消費増税を乗り越えれば、悪材料出尽くしとなり、年末に向けて極端な不人気・割安性が解消に向かいそうです。



運用本部
経済調査室長
三宅一弘

シニア・アナリスト八尾の出張術

海外企業の調査を本格化した当社。重要な役割を担うのがシニア・アナリストの八尾尚志です。1年のうち3、4カ月は出張に出ている八尾。そこで培った出張術をインターネット上の「ひふみラボnote」で公開しています。大きなトランクの中身は？ 愛用する便利グッズは？ おいしいレストランの見つけ方は？ 海外旅行にも役立つ情報が満載です。



毎月、トピックを用意して運用部のファンドマネージャー・アナリストのコメントを集めています。多様な考えや価値観をお届けすることを通じて、新しい視点を持っていただくきっかけになれば幸いです。

今月のトピック：暗号資産やキャッシュレス決済など「お金」の未来にまつわる期待や気になることを教えてください。



Fujino Hideto
藤野 英人
代表取締役社長
最高投資責任者

最近ではアップルウォッチでキャッシュレス決済ができるから、手ぶらで外に出ることもあります。便利になりました。小口決済はケータイやスマートウォッチですませることが常識になりつつあります。投資信託でも、このようなキャッシュレス化が進むと考えており、ひふみでもなるべく早く便利なサービスを導入できるように研究と先端技術への投資を怠らないようにしようと思っています。



Yuasa Mitsuhiro
湯浅 光裕
取締役運用本部長
シニア・
ファンドマネージャー

チップ、心付けを渡す時に簡単に渡す事ができ、かつ、貰い手がすぐに確認できて金額の大小で音が出るとか、色が付くとか、ポケットに重さを感じるとか、なにか「クスッ」と笑えるような仕組みができるのを期待しています。



Watanabe Shota
渡邊 庄太
運用部長
シニア・アナリスト
ファンドマネージャー

株式において種類株や黄金株があるように、お金にも単なる経済価値だけでなくいろんな想いを添えて届ける工夫がもっとあるといいなと思います。



Yatsuo Hisashi
八尾 尚志
シニア・アナリスト

デジタルマネーかリアルマネーか、デジタル決済か現金決済か、といったお金の形や決済は多種多様なものがありますが、いちばん大切なことは「使い方」と「目的」。それが将来への投資になるのか、はたまた浮世の憂さ晴らしに終わるのか、リアルにしるデジタルにしる「身に付く」お金の使い方を心掛けしていきたいと思っています。



Kurioka Daisuke
栗岡 大介
シニア・アナリスト

これからも多くの通貨や個人信用をベースとした枠組みがうまれてきます。しかしお金のカタチは変われど、時の流れるスピードと人間の欲望は不変です。地域、国単位ではなく、何が地球規模で最適なのか？いつも未来にワクワクしています。



Sasaki Yasuto
佐々木 靖人
シニア・アナリスト

貨幣には3機能（1.支払決済手段、2.価値尺度、3.価値保蔵）があります。この3機能が満たされていれば、なんら新しくありませんし、満たされていないなら貨幣とは呼べません。暗号通貨は課題があるため問題視されましたが、乱立するなんとかPAYは単なる決済手段の代替です。では、日本人が大好きな「企業発行のポイント」はどうでしょうか。国際会計基準（IFRS）では企業はポイントを時価で負債認識します。そろそろそこにスポットライトが当たるかなと考えています。



Ono Shotaro
小野 頌太郎
アナリスト

キャッシュレスにしたら売上が増えました、なんて事例をちらほら見かけます。キャッシュレスに対応していない、といわれると不便に感じるようになってしまい、私も最近はそういう店には自然と行かなくなりました。変化の方向は昔から変わらず、おカネもサービスも便利な方へ変わっていくんだと思います。



Katata Yuta
堅田 雄太
アナリスト

通貨の形や決済手段が変わることによる「お金の見える化」に期待しています。いつ、どこで、誰が、何にお金を使ったのかが見えるようになることで、企業のマーケティングも私たちの生活も変化していくでしょう。その変化を活かして素敵な製品やサービスを提供していける企業を探していきたいと思っています。



Wei Shanshan
韋 珊珊
シニア・アナリスト

キャッシュレス決済によって、財布を持たなくて良いという利便性はもちろん、規制の範囲内でデータが活用されて消費者がどんなものやサービスを求めているかを分析できることを期待しています。データ分析の効率は利用する人が増えるほど高くなりますので、いろんな分野において新しいビジネスモデルが生まれるでしょう。



Takahashi Ryo
高橋 亮
シニア・アナリスト

QR決済の群雄割拠が話題になってますが、消費者としてはスマホを立ち上げてアプリを立ち上げてなんて面倒な手段は積極的に使いたいのではありません。事業者視点では端末コストと決済手数料が安く好まれるとのこと。QR決済が本格的に普及するかどうか消費者と事業者の綱引きを見守りたいと思います。



Miyake Kazuhiro
三宅 一弘
運用本部
経済調査室長

利用者27億人を擁するフェイスブックが仮想通貨（暗号資産）「Libra（リブラ）」の導入計画を発表しました。銀行口座を持たないけれどスマホは持っている新興国の人々にも決済や送金サービスを提供しようというものです。ただし資金洗浄の温床となる懸念があるほか、既存金融機関（銀行）には手数料が入らなくなるなど大打撃でしょう。金融政策の機能低下も予想されます。主要国の政府・中央銀行が簡単に容認するとは思えません。仮にフェイスブックに認められると、アマゾンやグーグルなど巨大情報プラットフォーマーも参入するでしょう。金融覇権の様相が一変するかもしれません。

公式ウェブサイトの「セミナー」ページで詳細のご確認やお申込みが出来ます。

このほかのセミナー日程は開催が決まり次第、公式ウェブサイトの「セミナー」ページにて随時更新してまいります。

ひふみアカデミー（月次運用報告会）とは



ひふみ投信の運用についてご報告するとともに、今後の経済や株式相場などの見通しについてご説明いたします。ひふみ投信の運用について知りたいという方はもちろん、経済環境や株式市場について勉強したい、この先の経済見通しを知りたい方にお勧めのセミナーです。

はじめてのひふみとは



お取引をこれから始める方や口座開設をご検討中の方を対象に、ひふみ投信の仕組みや特徴、運用の方法、さらに実際の買付けなどのお取引方法などをご説明するセミナーです。「ひふみ投信とはどういう商品なの?」「公式サイトを読んだけど、分からない内容があるので説明してほしい」など、お客様の疑問やリクエストを遠慮なくお知らせください。

ひふみアカデミー(先着順)

セミナー名	開催日時	開催地	開催場所
ひふみアカデミー	9月5日(木) 19:00~20:30	東京都千代田区	レオス・キャピタルワークス本社
ひふみアカデミー(はじめて枠)	9月5日(木) 19:00~20:30	東京都千代田区	レオス・キャピタルワークス本社

はじめてのひふみ、女子勉強会など、他にも様々なセミナーをご用意しております。

セミナー名	開催日時	開催地	開催場所
人生100年時代 いまからはじめる資産形成@東京	8月8日(木) 19:00~20:30	東京都千代田区	レオス・キャピタルワークス本社
ひふみの社会科見学@北海道ガス	8月9日(金) 12:10~15:15	北海道石狩市	石狩LGN基地
ランチタイムセミナー はじめてのひふみ@東京	8月20日(火) 12:10~12:45	東京都千代田区	レオス・キャピタルワークス本社
人生100年時代 いまからはじめる資産形成@東京	8月20日(火) 19:00~20:30	東京都千代田区	レオス・キャピタルワークス本社会議室
行列のできる人気FP井澤江美さん書籍刊行 記念セミナー 貯める守る増やす みんな のマネープランセミナー@東京	8月20日(火) 19:00~20:30	東京都千代田区	レオス・キャピタルワークス本社 セミナールーム
集まろう!話そう!みんなで ひふみナイト@大阪	8月22日(木) 18:30~20:15	大阪市北区	ガープ モナーク (グランフロント大阪)
NISAの仕組みと使い方@東京	8月24日(土) 10:30~12:00	東京都千代田区	レオス・キャピタルワークス本社
人生100年時代 いまからはじめる資産形成@東京	8月24日(土) 14:00~15:30	東京都千代田区	レオス・キャピタルワークス本社
【お子様向けワークショップ】 子どもひふみ「夢を仕事に」@東京	8月25日(日) 13:00~14:30	東京都千代田区	レオス・キャピタルワークス本社
経済室長三宅×アナリスト小野 「投資家視点から考える VIP経済圏の躍 進と課題」@東京	8月26日(月) 19:00~20:30	東京都千代田区	レオス・キャピタルワークス本社
人生100年時代 いまからはじめる資産形成@東京	9月9日(月) 19:00~20:30	東京都千代田区	レオス・キャピタルワークス本社会議室
一般社団法人ユニバーサルマナー協会主催 株式会社ミライロ垣内俊哉社長が特別講師 ユニバーサルマナー検定3級 in レオス	9月20日(金) 19:00~20:30	東京都千代田区	レオス・キャピタルワークス本社
NISAの仕組みと使い方@東京	9月28日(土) 10:30~12:00	東京都千代田区	レオス・キャピタルワークス本社

ひふみ東北センター

セミナー名	開催日時	開催地	開催場所
NISAの仕組みと使い方@仙台	8月6日(火) 18:30~19:30	仙台市青葉区	ひふみ東北センター
NISAの仕組みと使い方@仙台	8月20日(火) 18:30~19:30		
人生100年時代 いまからはじめる資産形成@仙台	8月22日(木) 18:30~20:00		
NISAの仕組みと使い方@仙台	8月25日(日) 14:00~15:00		
人生100年時代 いまからはじめる資産形成@仙台	8月25日(日) 15:30~17:00		

ひふみ九州センター

セミナー名	開催日時	開催地	開催場所
人生100年時代 いまからはじめる資産形成@福岡	8月9日(金) 13:30~14:30	福岡市博多区	ひふみ九州センター
NISAの仕組みと使い方@福岡	8月9日(金) 15:00~16:00		
NISAの仕組みと使い方@福岡	8月20日(火) 18:30~19:30		
人生100年時代 いまからはじめる資産形成@福岡	8月28日(水) 10:00~11:00		
NISAの仕組みと使い方@福岡	8月28日(水) 11:30~12:30		

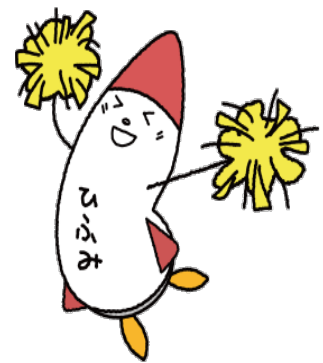
5年以上保有で0.2%～0.4%還元 対象者6000人突破

「資産形成応援団」長期投資を後押し

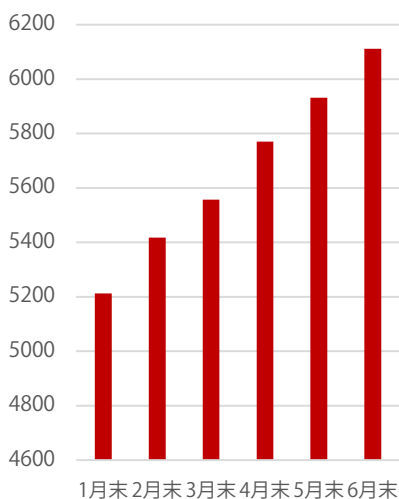
■毎年還元

ひふみ投信を5年以上保有いただいた方に信託報酬の一部を毎年還元する「資産形成応援団」。実際に還元を受けているお客様が、年明けに5000人を超え、6月には6000人を超えました。ひふみ投信のおよそ10口座に1口座が資産形成応援団の対象となった計算です。

5年以上で保有時価の0.2%、10年以上で同0.4%が還元されます。時価100万円分保有していた場合、5年以上の場合2000円、10年以上だと4000円分になります。還元分を原資に4月と10月に自動的にひふみ投信が買い足されます。



還元を受ける口座数



■日本で初めての仕組み

資産形成応援団は、お客様の長期投資を後押しするために当社が日本で初めて取り入れた仕組みです。株式市場は、漠然とした不安や期待など、さまざまな思いで上下を繰り返します。このため、企業の強さや成長性が株価となって現れるまでには時間がかかることも珍しくありません。資産形成応援団は、長くひふみ投信を持つてもらうことで、お客様の資産形成を応援します。

※資産形成応援団は、ひふみ投信のお客様のみが対象です。原則として現金のままお渡しすることはできません。

2019年8月20日(火) 19:00～20:30 @東京

人気ファイナンシャルプランナー井澤江美さんによるマネープランセミナー

お金に関する「漠然とした不安」から抜け出すための知恵をファイナンシャルプランナーの井澤江美さんにご解説いただきます。参加者には井澤さんの著書『行列のできる人気女性FPが教える お金を貯める 守る 増やす 超正解30』（東洋経済新報社）をプレゼント！

日時：2019年8月20日（火）

19時00分（受付30分前）～20時30分

人数：80名（抽選）

場所：レオス・キャピタルワークス 27階セミナールーム

申し込み：当社HP「セミナー」ページにて

[クリックでひふみ投信セミナーページへ](#)

ひふみ投信の特色

「ひふみ投信」はマザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 国内外の上場株式を主要な投資対象とし、市場価値が割安と考えられる銘柄を選別して長期的に投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

ひふみ投信の投資リスク

■ 基準価額の変動要因

- 「ひふみ投信」は、マザーファンドを通じて株式など値動きのある証券（外国の証券には為替リスクもあります。）に投資いたしますので、基準価額は、大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。これらの運用により生じる利益および損失は、すべてお客様（受益者）に帰属します。
- 投資信託は預金等とは異なります。

■ 基準価額の変動要因となる主なリスク

株価変動 リスク	「ひふみ投信」は、国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります。
流動性 リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
信用 リスク	有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となることを信用リスクといいます。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。
為替変動 リスクと カントリー リスク	外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じる場合があります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、「ひふみ投信」の基準価額が大きく変動するリスクがあります。

※投資リスク（基準価額の変動要因）は、上記に限定されるものではありません。

当資料のご留意点

当資料は、レオス・キャピタルワークスが作成した販売用資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社から交付される投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

投資信託は預金等や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

当資料の情報の正確性について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

当資料の市場見通しやグラフ・数値等は、当資料作成時点での当社の見解や過去の実績であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

ファンドの関係法人

委託会社： レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1151号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

受託会社： 三井住友信託銀行株式会社

販売会社： レオス・キャピタルワークス株式会社

当ファンドについてのお問い合わせ先

レオス・キャピタルワークス株式会社

コミュニケーション・センター

電話：03-6266-0123（受付時間：営業日の9時～17時）

メール：cc@rheos.jp

お申込メモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
当初設定日	2008年10月1日
信託期間	無期限
決算日	毎年9月30日（休業日の場合、翌営業日）
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。 ひふみ投信は、分配金再投資専用のため、分配金は自動的に再投資されます。
購入単位	1,000円以上1円単位の金額指定で受け付けます。
購入価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当り）
購入代金	販売会社が定める日までに販売会社にお支払いください。
換金（解約）単位	1口以上の口数指定または1円単位の金額指定で受け付けます。
換金価額	解約の請求受付日の翌営業日の基準価額（1万口当り）
換金代金	請求受付日から起算して5営業日目から支払われます。
申込締切時間	購入・換金ともに、毎営業日の15時までに受け付けたものを当日のお申込みとします。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。配当控除の適用はありません。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。

お客様にご負担いただく費用

◇ 直接ご負担いただく費用 : ありません。

申込手数料・換金（解約）手数料・信託財産留保額 は一切ありません。

なお、「振込購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇ 間接的にご負担いただく費用 : 次のとおりです

運用管理費用 (信託報酬)	信託財産の純資産総額に対して年率 1.0584% （ 税抜年率0.980% ）の率を乗じて得た額。 ※消費税率が10%になった場合は、年率1.0780%となります。 信託報酬とは、投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。 日々計算されて、投資信託の基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき「ひふみ投信」の信託財産から支払われます。
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年率0.0054%（税抜年率0.005%）の率を乗じて得た額（なお、上限を年間86.4万円（税抜年間80万円）とします。当該上限金額は契約条件の見直しにより変更となる場合があります。）。※消費税率が10%になった場合は、年率0.0055%となり上限は年間88万円となります。日々計算されて、毎計算期末または信託終了のときに「ひふみ投信」の信託財産から支払われます。
その他費用 ・手数料	組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料（それにかかる消費税）、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法等を具体的に記載することはできません。